

# チュートリアル\_3 キャラ台本 DKB\_tutorial1

	シーン…正門（背景…校門前・朝）
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0010 日葵（\$名前）</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0020 日葵（\$名前）</p>	<p>4月。新しいクラス、新しい教室。 デフォルト名 国分寺日葵 苗字固定 名前のみ入力可能と想定 私は国分寺\$名前。この春から、この学校に通うことになった。</p> <p>「（転校初日から自己紹介……ちゃんと言えるかな）」</p> <p>「（……行かなきゃ）」</p> <p>深呼吸をひとつして、私は正門をくぐった。</p>
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0030 日葵（\$名前）</p>	<p>シーン…職員室前の廊下（背景移動…校門前↓職員室前）</p> <p>事務員さんに連れられて、廊下を進む。</p> <p>事務員「この先が職員室だよ。担任の先生も、中で待っているはずだ」</p> <p>「はい。ありがとうございます」</p> <p>コン、コン、と事務員さんがドアをノックしてから開ける。</p>
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0040 日葵（\$名前）</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0050 日葵（\$名前）</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0060 日葵（\$名前）</p>	<p>シーン…職員室（背景…職員室・朝）</p> <p>事務員「失礼します。桐谷先生、転校生の国分寺さんをお連れしました」</p> <p>桐谷先生「ああ、ありがとう」</p> <p>職員室の中央あたりで、男性教師と二人の男子生徒が話している。</p> <p>「（あの人が……担任の先生？）」</p> <p>桐谷先生「おはよう。君が国分寺さんだね。よく来てくれた」</p> <p>「あ、はい。今日からお世話になります、国分寺\$名前です」</p> <p>桐谷先生「二年B組の担任をしている桐谷真一だよ。よろしく」</p> <p>「桐谷先生、よろしくお願ひします」</p> <p>事務員「それじゃあ、あとはお願ひしますね」</p>

<p>01_ch01_DKB_tutorial1_0010 ???@天城翔</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0070 日葵(\$名前)</p> <p>01_ch02_DKB_tutorial1_0010 ???@朝比奈蓮</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0080 日葵(\$名前)</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0090 日葵(\$名前)</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0100 日葵(\$名前)</p>	<p>桐谷先生「はい、お預かりします」 案内してくれた事務員さんは、軽く会釈して職員室を出ていく。</p> <p>桐谷先生「せっかくだし、ちょうど今二人来ているからクラスの仲間も紹介しておこうか」 桐谷先生が、そばに立っていた二人の男子のほうを向く。</p> <p>桐谷先生「こっちは、二年B組のクラス委員」 名札を???にして、音声台本は天城翔に入りたい時の表示例</p> <p>「天城翔へあまぎかけるVです。クラス委員やっています。よろしく」</p> <p>「天城くん……よろしくお願いします」 桐谷先生「もう一人。よく職員室にも顔を出してくれる、クラスの『ムードメーカー』だな」</p> <p>「なんだそれ……朝比奈蓮へあさひなれんVだ」 桐谷先生「見た目は少し怖がられがちだが、困ったときには頼りになるやつだよ」</p> <p>「朝比奈くん、よろしくお願いします」</p> <p>「(クラス委員の天城くんと、ちよつと不思議な雰囲気朝比奈くん……)」 桐谷先生「せっかくだから、\$名前さんからも一言、挨拶してみようか」</p> <p>「えっ、ここで、ですか？」 桐谷先生「うん。この二人は、今日からの心強いクラスメイトだ」</p> <p>「(どう挨拶するかで、最初の印象が決まっちゃうかも……)」</p> <p>選択肢・職員室での挨拶</p> <p>①「元気よく、笑顔で挨拶する」 アップ ――天城…好感度小</p> <p>②「落ち着いて、丁寧な挨拶する」 アップ ――朝比奈…好感度小</p> <p>③「緊張でうまく話せない」 アップ ――誰の好感度も上がらないが、後でフォローしやすい</p>
--	--

	① 選択
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0120 日葵 (\$名前)</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0130 日葵 (\$名前)</p> <p>01_ch01_DKB_tutorial1_0020 天城翔</p> <p>01_ch02_DKB_tutorial1_0020 朝比奈蓮</p>	<p>「(ここは思いきって、明るくこ う!)」</p> <p>「あらためまして、国分寺\$名前です。ま だわからないことだらけですけど、早くみ なさんと仲よくなりたいです。よろしくお 願いします!」</p> <p>「お、いいねその感じ。うちのクラス、 きつとすぐ馴染めるよ」</p> <p>「……元気だね。でも、そのほうがこのク ラスには合ってるかも」</p>
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0140 日葵 (\$名前)</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0150 日葵 (\$名前)</p> <p>01_ch01_DKB_tutorial1_0030 天城翔</p> <p>01_ch02_DKB_tutorial1_0030 朝比奈蓮</p>	<p>② 選択</p> <p>「(ちゃんと礼儀正しく、落ち着いて… …)」</p> <p>「国分寺\$名前と申します。急に転校して きて不安も多いのですが、ご迷惑をおかけ しないよう、がんばります。よろしくお願 いします」</p> <p>「まじめだなー。クラス委員的には、助か るタイプかも」</p> <p>「……きちんとしてる子みたいで、少し安 心した」</p>
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0160 日葵 (\$名前)</p> <p>01_ch00_DKB_tutorial1_0170 日葵 (\$名前)</p> <p>01_ch01_DKB_tutorial1_0040 天城翔</p>	<p>③ 選択</p> <p>「(ああ、緊張で、うまく言葉が……)」</p> <p>「あの……国分寺\$名前です。えっと…… よ、よろしく……お願いします……」</p> <p>「おっと、緊張レベル高め? ま、最初は</p>

<p>01_ch02_DKB_tutorial1_0040 朝比奈蓮</p>	<p>そんなもんだって」 「無理に話さなくていいよ。そのうち、普通にしやべれるようになる」</p>
<p>01_ch01_DKB_tutorial1_0050 天城翔 01_ch02_DKB_tutorial1_0050 朝比奈蓮 01_ch01_DKB_tutorial1_0060 天城翔 01_ch00_DKB_tutorial1_0180 日葵 (\$名前)</p>	<p>合流ポイント (背景:職員室・朝) 桐谷先生「うん。ありがとう、\$名前さん」 桐谷先生「じゃあ、天城と朝比奈は先に教室に戻って、みんなに転校生が来たことを伝えておいてくれ」 「了解です。じゃ、\$名前さん、あとで教室で」 「……廊下で迷ったら、だいたい天城のせいで」 「おいおい、そこは先生の案内を信じてくれよ」 「ふふっ……よろしくお願いします」 二人の男子は、軽く会釈して職員室を出ていく。</p>
<p>01_ch00_DKB_tutorial1_0190 日葵 (\$名前) 01_ch00_DKB_tutorial1_0200 日葵 (\$名前) 01_ch00_DKB_tutorial1_0210 日葵 (\$名前) 01_ch00_DKB_tutorial1_0220 日葵 (\$名前)</p>	<p>シーン:廊下 (背景移動:職員室↓教室前) 桐谷先生「それじゃあ、\$名前さん。教室に行こうか」 「はい」 「(天城さんと朝比奈くん……少しだけでも、話せてよかった)」 「(このあと、クラスのみんなの前で自己紹介……か)」 「(――よし。がんばろう)」 このあと、桐谷先生と一緒に教室に入っていくシーンへ続く サンプルここまで</p>

# チュートリアル\_3 キャラ台本 DKB\_tutorial2

	<p>シーン…教室（背景…教室・朝）</p> <p>ガラリ、と教室のドアが開く。</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0010	日葵（\$名前）
	<p>「わ……思ったより、人が多く感じる……」</p> <p>桐谷先生「おい、席につけー。今日はみんなに紹介したい人がいる」</p> <p>徐々にざわめきがおさまり、視線が前へ集まっていく。</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0020	日葵（\$名前）
	<p>「（全員に見られてる……!）」</p> <p>桐谷先生「今日からこのクラスの仲間になる転校生だ。前に出て、一言あいさつしてくれるか？」</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0030	日葵（\$名前）
	<p>「は、はい……」</p> <p>教壇の横まで歩き、クラス全員が見える位置に立つ。</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0040	日葵（\$名前）
	<p>「（深呼吸、深呼吸……）」</p> <p>「あの……国分寺\$名前といます。急に転校してきて、不安もありますが……みなさんと仲よくなれたらうれしいです。よろしくお願いします」</p> <p>ぱちぱち、と教室に拍手が広がる。</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0050	日葵（\$名前）
	<p>「（なんとか言えた……!）」</p> <p>さつき職員室で挨拶した天城君が見える。</p> <p>小さく手を振ってくれていた。</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0060	日葵（\$名前）
	<p>「（天城くん……さつきより、ちょっと安心した顔してる?）」</p> <p>桐谷先生「よし。じゃあ、国分寺さんの席だけー」</p> <p>桐谷先生が教室の後ろ寄り指さす。</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0070	日葵（\$名前）
	<p>桐谷先生「窓側の列、いちばん後ろ。朝比奈の隣が空いているな」</p>
02_ch00_DKB_tutorial2_0080	日葵（\$名前）
	<p>「朝比奈くんの……隣……」</p> <p>桐谷先生「天城、ノートを配りながらでいいから、あとで周りのこと教えてやってくれ」</p>

02_ch01_DKB_tutorial2_0010 天城翔	「了解です」  シーン・着席（背景：教室・朝・同じ）
02_ch00_DKB_tutorial2_0090 日葵（\$名前）	「失礼します……」 椅子を静かに引いて、指定された席に座る。
02_ch00_DKB_tutorial2_0100 日葵（\$名前）	「（隣の席……）」 すぐ横で、朝比奈が教科書を閉じてこちらを見る。
02_ch02_DKB_tutorial2_0010 朝比奈蓮	「……………」
02_ch00_DKB_tutorial2_0110 日葵（\$名前）	「（えっ……に、にらまれてる……？）」 鋭い視線に見えて、どこか探るような目つき。
02_ch00_DKB_tutorial2_0120 日葵（\$名前）	「（やっぱり、私、何か変に見えるのかな……）」 ほんの数秒の沈黙のあと、朝比奈は小さく視線をそらす。
02_ch02_DKB_tutorial2_0020 朝比奈蓮	「…………うるさかったら、言って。窓側、た まに風が強いから」
02_ch00_DKB_tutorial2_0130 日葵（\$名前）	「え？ あ……うん、ありがとう」
02_ch00_DKB_tutorial2_0140 日葵（\$名前）	「（さっきまで怖いと思ってたけど……も しかして、不器用なだけ？）」
02_ch00_DKB_tutorial2_0150 日葵（\$名前）	「（隣の席か……仲よくできるといい な）」 教室シーン・サンプルここまで